中國新聞
広島市中区土橋町7番
発行所 〒730-8677
中国新聞社
電話(082)236-2111(代表)
郵便振替口座 01370-6-7
© 中国新聞社 2000

マンションは 管理を買う
合人社計画研究所
合人社計画研
こうじんしゃけいかくけんきゅうじょ
[本社]広島 [事業所]札幌 仙台 東京 横浜 静岡 名古屋 京都 大阪 神戸 福岡 熊本 鹿児島 那覇
札幌 仙台 東京 横浜 名古屋 京都 大阪 神戸 福岡 熊本 鹿児島 那覇
http://www.gojin.co.jp

核なき新世紀へ行動

被爆55周年

秋葉広島市長が平和宣言

二十一世紀を「核兵器のない世紀」であるようにとの祈りが、惨禍とともに広島を包んだ。被爆五十五回目の「原爆の日」広島市中区の平和記念公園で市主催の原爆死没者慰霊式・平和祭が営まれた。今世紀最後となった「広島平和記念式典」が執り行われ、約五万人(市発表)が参列した。今世紀最後となる「平和宣言」を読み上げた秋葉忠利市長は、原爆使用に代表される戦争や環境破壊などを生み出した科学技術と人類との「和解」を訴え、「核兵器に立つ道義を世界に表明した。

「和解」創り出す

午前八時五分過ぎ、「祝福の鐘」が鳴り響く中、秋葉市長、遺族、子ども、被爆者の代表、森喜朗首相ら来賓六百人が、「白と黄色の菊の花輪を原爆慰霊碑に手向けた。原爆投下の午前八時十五分、「平和の鐘」を合図に一分間の黙とう。秋葉市長が平和宣言に立った。

「核兵器の廃絶を世界に向かって呼び掛けるために広島は、さらに、科学技術を用いる平和都市として新たな出発をしたい」と、半世紀にわたる「核の時代」を生きる「命」と、「核兵器の廃絶と再発防止」を訴えた。

「祈りの心」が欠けた「地球の自」を生きる「命」と、「核兵器の廃絶と再発防止」を訴えた。

「憎しみ」の連鎖を断ち切る「勇気」と「慈しみ」の「絶」と「核兵器の廃絶と再発防止」を訴えた。

「核兵器の廃絶と再発防止」を訴えた。

「核兵器の廃絶と再発防止」を訴えた。